



来年の花芽形成は7~8月のこの時期ですので、樹全体に十分な日光が当たるように新梢管理を行ってください。また、低日照・多雨が続いています。病害感染などの危険性がありますので、定期散布は必ず実施してください。薬剤防除の際は、SS運転に十分注意を払い、農作業事故の無いよう、防除を実施してください。

今年の一部の園地では着果不良となりましたが、全域で着果良好となっています。

園地の着果状況を必ず確認し、状況に応じて適正着果に努めましょう。

摘果は遅くとも7月末までに実施してください。

### 病害虫防除

隣接園(特に収穫期の作物)に飛散しないように注意してください

7月下旬の散布(7月20日~31日頃)

散布薬剤	水	100ℓ	散布日 7月 日 散布量 ℓ
	展着剤	10mℓ	
	オーソサイド水和剤80	100g	(収穫7日前、5回以内)
	劇オリオン水和剤40	100g	(収穫21日前、1回以内)
対象病害虫	落葉病、炭疽病、すす点病、アザミウマ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類、イラガ類、カキノハタムシガ、ケムシ類、カキノヒメヨコバイ		
散布量	10a当り500ℓ *若木の場合、樹体にしっかり散布できる量を散布する		
注意事項	*昨年、落葉病が発生した園地では必ず散布する。 *オーソサイド水和剤80に代えて、スコア顆粒水和剤(前日、3回)の3,000倍を使用してもよい *オリオン水和剤40は劇物登録農薬です。お求めの際は印鑑をお持ちください。		

## 病虫害防除

### ① 8月上中旬の散布（8月10日～20日頃）

8月はカキノヘタムシガ（ヘタムシ）の重要防除時期となります。芽を食害したあと果実に入るので、芽の食害痕が散見された場合は直ちに防除をしましょう。芽・果柄・ヘタに薬液がかかるよう丁寧に散布しましょう。

散布薬剤	水	100ℓ	散布日 8月 日	
	展着剤	10mℓ		散布量 ℓ
	ダントツ水溶剤	50g	（収穫7日前、3回以内）	
	トップジンM水和剤	100g	（収穫前日、6回以内）	
対象病虫害	落葉病、炭疽病、うどんこ病、アザミウマ類、コナカイガラムシ類 カキノヘタムシガ、カメムシ類			
散布量	10a当り500ℓ *若木の場合、樹体にしっかり散布できる量を散布する			
注意事項	*前回から20日以内に散布する。 *アメリカシロヒトリの発生園は、アディオン水和剤 3,000倍（7日前、5回）を加用する。			

### ●今後の管理について

\*摘果・・・7月末までには摘果を実施してください。

\*雑草管理・・・主幹害虫対策として、根元は常にきれいにしましょう。  
バスタ液剤（収穫前日まで、3回以内）  
10a当り 水 100～150ℓ、バスタ液剤 500mℓ

\*乾燥防止・・・敷き草や敷きワラ、かん水を実施しましょう。  
（敷きワラは、根元 50cm 空けて厚く敷く）